

# 会場配布用資料マスターを公開します。

修正 追加しておきたい項目がありましたら、赤字で記載。削除したい箇所は青色を塗って、その直後の赤字で改訂文字を記入、メール添付ください。  
 注意 ).....Excellに一覧性を与えています。そのため、本来改行部分を、 に置き換えて表現しています。1項目を1セルでまとめてください。なお、<ALT><改行 enter>を同時に押しながらおこなうとexcel上で改行します。確認下さい

2005/4/13/10:00現在 v8.1

## メインテーマ サブテーマ

### 里山に託す私たちの未来

サブテーマ》原案 [里山と子供たち] -親に継承える(つたえる)昔体験...  
 [里山と子供たち] 先人の豊かな経験を子供たちとその親に伝え、美しい里山を取り戻して次の世代に渡しましょう

分科会名no. 名称	テーマ	趣 旨	(1)分科会開催場所・日時・スケジュール	(2)分科会開催場所・日時・スケジュール	参加委員メンバー	打ち合わせ会	協賛・共催	その他	
1. 里山と水田 稲作	田んぼが育む生きものと子どもたち	水田「稲作」生物・ピオトブ分科会では、生きもの視点から田んぼを見直し、千葉県の水田農業を環境創造型へ転換していくための方向を検討します。 基調講演では食と農と環境、それを生きもの視点から見直すことにより、田んぼの生きもの多様性＝曼荼羅」が新たな価値を持った産業としての農業へ結びつくことを中心に講演していただきます。 ミニコンサートでは、「農」を音楽と講演により理解を深めていきます。 パネルディスカッションでは、「ふゆみずたんぼ」や「生きもの調査」が千葉県の水田農業を環境創造型へ導くことができるのか、次世代を担う高校生を交えてディスカッションします。このディスカッションは、パネリストと参加者と対話型で実施します。(結論を出すことを目的としません)	シンポジウム： 10:00 開場 10:30～11:40 趣旨説明 (千葉県立茂原農業高等学校 農業土木部顧問 渡邊英二) 10:40～11:00 谷津田保全活動「生きもの調査の実践報告(千葉県立茂原農業高等学校 農業土木部)」11:00～12:00 基調講演「ふゆみずたんぼの生きもの曼荼羅」(宮城県立田尻高等学校教諭 岩淵成紀 12:00～13:30 食事交流 13:30～14:30 "農"を称えるミニコンサート"と講演(国土交通省北海道局農林水産課開発専門官 田中卓二) 14:30～14:40 休憩 14:40～16:30 パネルディスカッション「コーディネーター 岩淵成紀 パネラー 田中卓二 新海秀次(ちば緑耕舎) 茂原農業高校 農業土木部生徒 近代農法以前の田水農業、地域を知っている方 日 時 2005年4月23日(土)10:30 - 16:30 場 所 千葉県立茂原農業高等学校 文化ホール 参加費 200円(資料代)	野外体験： 第2回 千葉県下大和田の田んぼで実施する。5月1日(日)11:00前 田んぼと里山観察会・生きもの調査実践 田中先生の指導「生きもの観察会(魚類中心?)」渡邊先生調査隊長による「生きもの調査実践」2) 午後：子ども達に企画を立ててもらった田中先生指導による、安全な遊び	代表 渡邊 英二 副代表： 記録： 委員会 茂原高校生協グループ、生産者グループ(緑耕舎、三門、地元生産者G)、田崎 知郎、荒尾 稔	連絡先 千葉県立茂原農業高等学校 農業土木部顧問 渡邊 英二			
2. 里山と生物・ピオトブ	谷津田 里山における生物多様性の体験	昨年、人が適度に手を加えること(稲作や山の手入れなど)によって、生物多様性が維持されている「里山の自然」をデータをあげて学術的に評価した。今回はNPOIによって維持「管理」されていて、いきものの宝庫である千葉市緑区下大和田谷津田「里山」でかけ、観察会や生き物調査をすることによって生物多様性を体験する。また、谷津田・里山が子どもたちにとって安全で楽しく遊べる場であることを、実際に活動している子どもたちが考えた遊びを通して体験する。	シンポジウム「里山と稲作」田圃分科会との共同企画、場所 茂原市・茂原農業高校文化ホール 分科会(フィールドワーク) (1)次第 1) 午前 岩淵成紀 基調講演「ふゆみずたんぼの生きもの曼荼羅」、2)午後 田中卓二 "農"を称えるミニコンサートと講演 3) "パネルディスカッション「新たな価値をもつ農業への転換に向けて」" コーディネーター 岩淵成紀氏 近代農法以前の田水農業、地域を知っている農業者(65～70才) 緑耕舎(ふゆみずたんぼ実践者・新海さん) 茂原農業 - 渡邊先生と生徒たち 基調講演で「田んぼの生きもの多様性＝曼荼羅」が食と環境、それを生きもの視点から見直すことにより、豊かな精神世界を含めた文化、暮らしの多様性にむすびついている意義を「調査」により理解を深め、新たな価値を持った産業としての農業へ、地域づくりに結びつくことを中心に講演して頂く。 ミニコンサートでそのような「農」を音楽と講演により更に体験として理解を深められるようご進めたい。 パネルディスカッションにより「温故知新」としての「ふゆみずたんぼ」が2500年かけて積み重ねられた農業の新たな価値として、その為には「生きもの調査」を生産者から市民の皆が行うことが必要であること、環境直接支払いへ方向性を国民的理解として実現に向けられるように進めたい。 分科会(フィールドワーク)	野外体験： 実施日：5月1日(日)10:00～16:00、10:00～12:00 田んぼと里山観察会と生きもの調査実践 13:00～16:00:子どもたち企画による谷津田「里山」遊び	代表：田中 正彦 副代表：網代 春男 記録係：高山 邦明 実行委員：平沼 勝男、高山 翔、高山 瑞紀、江澤 千秋、越川 重治、南川 忠男				
3. 里山と教育 学習	里やまは人づくりの場	我が国の風土の中で培われた自然観は、森林、自然を畏れ、敬い、親しみ、その恵みに感謝する中から「ん」を創り、育ててきました。ところが近年は物が豊かになり、加えて社会構造の急激な変化は環境を悪化させ、犯罪の増加なかでも少年の犯罪が凶悪化するなど人心の荒廃が目立ちます。教育の根本は、豊かな感性即ち心を育てることです。里山は、古来から森林文化の機能と人間との関わりで今日に引き継がれ、私たちの心の故郷でもあり、癒しの場、学びの場、生きる力を蘇らせる場でもあります。今回は「里やま」を巡る観察会で自然の恵みを享受し、更にシンポジウムを開催してこれからの教育の在り方を根底から模索したいと考えます	自然体験： 1. 里山散策、野草試食と講演会 4月29日(緑の日)千葉市立みつわ台北小学校(130人) 9:30～12:00観察、12:00～13:00野草試食、13:00～14:00講演会 千葉市若葉区みつわ台周辺の「里やま」を歩き、小学校家庭科教室で野草を調理して試食(講師 千葉県森林研究センター次長小平哲夫氏)	シンポジウム： 2. 自然体験「何でだろう自然の不思議」とシンポジウム 5月7日(土)10:00～16:30まで、千葉県立中央博物館生態園と講堂(200人)午前中学生態園で自然体験、午後シンポジウム(テーマ、自然体験はオマケじゃない)挨拶、里山と環境大槻幸一郎(前千葉県副知事、里山シンポジウムの意義中村俊彦(千葉県立中央博物館副館長) 基調講演 筒井 迪夫(東京大学名誉教授) パネリスト 亀井 尊(千葉経済大学付属高等学校教諭) 中村 くに子(社会福祉法人 たいよう保育園園長) 浅野 誠(千葉県立精神科医療センター医師) 湯上 界(森林インストラクター) コーディネーター 上善 峰男(森林文化教育研究会事務局長) 総合司会 鈴木 敦(NPOみどりのネットワーク千葉) 記録 技術担当 岩橋 幹夫(ビスタークラブ) 休憩時間に「日本の叙情詩」をオカリナやギター演奏、保育園児の合唱を予定	代表 上善 峰男 副代表 鈴木 敦 記録係 岩橋 幹夫 実行委員 鈴木 敦、岩橋 幹夫、亀井 尊、中村 くに子 顧問 山下 宏文、菅井 啓之、鈴木 真	第2回打ち合わせは、4月23日(土)10:00から予定			
4. 里山と森林 林業	市民の暮らしと森林の未来～森をつくる地域循環型の暮らし～	戦後の国内林業の低迷、森林の荒廃は、家庭での燃料構造の変化や外国産木材の輸入自由化など、社会構造の変化がその大きな原因だと言われています。森林は木材生産のほか空気の浄化、水源の涵養など多面的な機能を持って私たちの暮らしを支えています。私たちの暮らしの変化とパラレルな関係にある森林荒廃の問題を考えるとき、かつての山武杉の美林を知り、そこでの暮らしを体験した世代から学ぶことは多いはず。現在の森林の状況と重ね合わせて、地域循環の視点から暮らしと森の結びつきを見直します。暮らしを取り巻くテクノロジーの変化やライフスタイルの多様化を踏まえて、新たな森と暮らしの関係、森林 林業の再生を考えます。	自然体験： 全体進行：西塚 健治 スケジュール <森林ウォッチングとパネルディスカッション> 9:30～ 受付開始 東金文化会館エントランスホール 10:00～12:00 森林ウォッチング【小雨決行】鶴ヶ嶺の森～あしたの森	シンポジウム： 日 時 2005年4月30日(土) 会 場 東金文化会館2階会議室 規 模 参加者 100名程度 12:00～13:00 昼食、交流 各自弁当持参 指定場所で食事 近くレストラン有り 13:00～16:00 シンポジウム 会場 東金文化会館 2階 第2会議室 パネラー 吉岡 實 山武都市森林組合 組合長 東金市建設部都市整備課 東金市経済環境部農政課 東金市経済環境部環境保全課 本間 一夫 さんむフォレスト コーディネーター 稗田 忠弘 さんむフォレスト 16:00 終了 その他 パネル展示 東金市建設部都市整備課 東金市経済環境部環境保全課 東金市経済環境部農政課 ちば環境情報センター さんむフォレスト プレゼント 東金市建設部都市整備課から花の種をプレゼント	代表 稗田 忠弘 副代表 福満 美代子 記録係 小野 鈴子 委員 桐山 正治、大和田 恭、石田 光男、高宮 文夫、今関 貞夫、日暮 岐夫、戸村 寿彦、西塚 健治、鈴木 剛治、野口 英一、本間 一夫、唐笠 敦、鈴木 剛治	共催 東金市、(アースセレブレーション)2005参加行事) 協賛：山武都市森林組合 千葉県木材振興協会 千葉県木材市場 山武木材協同組合 千葉県建築家協会(社)千葉県建築士会(社)日本建築学会関東支部 千葉支所	同日開催「里山シンポジウム」第13分科会 竹分科会 東金文化会館 2階 第2会議室 10:00～12:00		
5. 里山と竹	里山と竹書について	最近、里山の植生を壊す「竹害」が各地で問題化しています。竹については有効利用も多いのですが、世俗の風潮としては竹はもはや厄介者です。竹や笹があちこちに顔を出し、まるで暴れまわっているように見えるところから、「竹・笹を 暴れ者」という人さいます。 伐採し適正に管理しなくてはなりません、繁殖力がすさまじいことと、地下茎で増殖するといふ特性から、常識的な対応では歯がたちません。 里山を放竹林や竹書から守るためにはどうしても竹に関する基礎的な知識が必要です。竹の枯死等について適正な指導書も無く、指導してくれる既存の団体も無いのが実情です。竹分科会では、「竹書」を主たるテーマにして、参加者が竹について何を思い、何を知らたいのか手始めに探りたいと考えています。今回は、竹や笹についての「困りごと相談」を実施します。竹について知りたいこと、竹害に困っている人の相談をお待ちしています。	シンポジウム： 日時 2005年4月30日(土) 午前10時～正午まで 場所 東金文化会館 2階 第2会議室 スケジュール 10:00～10:20 主旨説明 10:20～12:00 竹や笹について「困りごと相談」の実施 メンバー		代表：田代 武男 副代表： 記録： 委員：林 正治			会場は東金市が借りる。午前中の会場は、竹分科会がシンポジウムを開催する	
6. 里山と食	語ろう! 千葉の食 食べよう! 里山・里海の幸	千葉の里山・里海で育まれた豊かな食材と暮らしの中で生まれ、伝え続けてきた郷土料理について語り、これを次代の子どもたちに伝えて行くためには、いま何が必要かについて語り合	シンポジウム 日時 平成17年5月14日(土) 会場 鴨川市平塚540 大山千枚田保存会 棚田倶楽部 参加者 大人 40人程度(県内各地) 子ども 20人程度(県内各地) 日程 10時30分 受付 10時50分 オリエンテーション 11時 太巻き寿司作り 指導 龍崎 英子先生 12時 昼食 太巻き寿司と地元料理 13時 フォーラ 野遊び(大人) 子ども 助言者 パネラー 石田三示さん(大山千枚田保存会理事長) 菅沼弘夫さん(子どもに学ぶ会代表) 遠山 勇さん(幕張プリンス和食料理部長) 龍崎英子さん(伝統料理研究会会長) 美濃輪やよいさん(元生活改良普及員) 山口 孝さん(公務員) コーディネーター 遠藤陽子(千葉自然学校理事) 15時15分 三時のおやつ 15時40分 まとめ、解散		代表：遠藤 陽子 副代表： 記録： 委員：			経費 参加費 大人(昼食、おやつ、他) 子ども 鴨川～大山千枚田 往復バス代	

7. 里山と芸術	谷津田における人と自然とアートとの出会い	<p>今回の開催場所となる大藪池谷津田(千葉県緑区)は住宅地に近接してはながら谷津田の自然を今に留めています。しかし、この貴重な場所も多くの周辺住民にとって必ずしもなじみのある場所ではありません。そこで、私たちはこの谷津田の魅力をも多くの方々に知ってもらいたい、理解してもらいたいと考えています。</p> <p>そのためには、机にかじりついて谷津田を理解するのではなく、本物の谷津田に赴き、その場所性や魅力について参加者自らが意味づけを行う表象活動が重要であると考えました。</p> <p>今回の企画では、この表象活動を促す手段として「芸術」という方策を用います。まず、実際の谷津田の自然の中で、参加者が自然と融和した創作的なワークショップを行なうことで谷津田の魅力を味わうことを目的としています。楽しさと一緒に何らかの「気づき」がある企画にしていきたいし、そして、それは同時に、「芸術」を用いて谷津田の魅力伝えていく今後の活動のきっかけとなることを目指すものです。</p>	<p>野外体験： 日時 5月15日(日)(雨天の場合は5月29日(日)) 場所 千葉県緑区土気大藪池谷津田 9時30分受付開始 10時～11時30分 山と医療 福祉分科会代表のウッディ工房横田さんによる竹を使ったドームづくりと間伐材を使った机づくり 11時30分～13時 野草をとり てんぶらをする+昼食 の机を並べ、てんぶら用にコンロと鍋を置く 内容説明 参加者は谷津田を散策して野草を採り、随時てんぶらにして食べる 各参加者が持ってきたお弁当を食べて昼食とする チャリカフェで飲み物を振る舞う(全員分には足りなくてもよい) チャリカフェについて :チャリカフェの周りに活動パネル立てたり チラシを配ったりする予定。 13時～15時 :ウッディ工房小林氏による竹を使った楽器づくりとそれを使った演奏</p>	代表：宮村賢治 副代表： 記録： 委員：栗原祐治				
8. 里山と医療 福祉	谷津田における福祉の有り方と新たな相互理解や交流の試み	<p>長期にわたって人間が関わってきた美しい里山の自然には、人の心を解放し、「人と人」「人と自然」「人と生き物」を結びつける大きな力があります。「人と人」との相互理解を超え、開放された心の中で「人と自然」「人と生き物」との相互理解までも可能にします。そうしたやわらかい関係の中で人は癒されるのだと思います。</p> <p>相互理解を深めるには、専門書を読むよりも、実際に里山に行き、感覚を研ぎ澄まして感じる必要があります。きつ心地よい何かを発見できるはずで、す。きつ心地よい何かを発見できるはずで、す。</p> <p>今回の企画では、大藪池谷津田(千葉県緑区)でのワークショップをとおして参加者が時間と空間を共有するなかで、いろいろなものに触発されて身体を動かし、語り合い、「子供」「高齢者」「障害者」「健常者」の枠を取り払い、人や自然との相互理解と交流につながることを期待しています。</p>	<p>野外体験： 日時:5月15日(日)(雨天の場合は5月29日(日)) 場所:千葉県緑区土気大藪池谷津田 9時30分受付開始 10時～11時30分 里山と医療 福祉分科会代表のウッディ工房横田さんによる竹を使ったドームづくりと間伐材を使った机づくり 11時30分～13時 野草をとり てんぶらをする+昼食 の机を並べ、てんぶら用にコンロと鍋を置く 内容説明 参加者は谷津田を散策して野草を採り、随時てんぶらにして食べる 各参加者が持ってきたお弁当を食べて昼食とする チャリカフェで飲み物を振る舞う(全員分には足りなくてもよい) チャリカフェについて :チャリカフェの周りに活動パネル立てたり チラシを配ったりする予定。 13時～15時 :ウッディ工房小林氏による竹を使った楽器づくりとそれを使った演奏</p>	代表：横田耕明 副代表：林みね子 記録：宮崎京子 委員：岩井秀夫				
11. 里山と政策分科会	子どもと里山	<p>木の枝で隠れ家をつくったり、落ち葉を集めて積み上げたり、つるにぶら下がったり・・・いったん森の中に入りさえすれば、子どもたちはそれは生き生きと自由に遊びを編み出します。里山は創造力をふくらませる場。</p> <p>里山に子どもたちの声が響く保育園、子どもたちを自然の中で育てたいとの思いからプレーパークを実現したおかあさん、都市部でも豊かな自然の遊びを提供する自治体の取り組みをお話しいただきます。</p> <p>豊かな自然の中で子どもたちを育てたい、それは誰もが望むことです。同じ思いを持った各主体による様々な取り組みを知って、それぞれの地域で実践していくためにはどのような取り組み、働きかけが必要かを考えていきたいと思ひます。</p>	<p>シンポジウム： 日時 2005/5/21 場所 我孫子市中央学院大学 6号館の会場にて開催 10:00～10:05 あいさつ、主旨説明 10:05～10:25 事例紹介 里山保育園(富津市和光保育園園長 鈴木真廣氏) 質疑 10:25～10:50 事例紹介 :子どもたちの森(千葉県役所緑政課 鈴木康博氏) 質疑 10:50～11:15 事例紹介 :プレーパーク「どんぐりの森」(四街道市古川美之氏) 質疑 11:15～11:30 全体質疑 11:30～12:00グループ討議 12:00～12:15グループ発表 12:15～12:20まとめ</p>	代表：小西由希子 副代表：内山真議 記録：伊原加奈子 委員：				
10. 里山と観光			<p>シンポジウム 1 日時 2005/5/21 場所 我孫子市中央学院大学 6号館の会場にて開催</p>	<p>シンポジウム 2 開催日 6月18日、19日 時間 6月18日(土)12:00から 19日(日)9:00から 会場及び集合場所等 : 道の駅、ローズマリー公園 丸山町内交流 体験センター 所在地 安房郡丸山町白子1501 内容 里山ハイキング 安馬谷の里山をハイキングし四季の里山を見学 集合時間 :12:00 当日持参する必要物 :保険証、飲み物、雨具等 6月19日について 内容 前日ハイキングした安馬谷の里山を題材に、里山の価値について語ります。またその価値をどう観光に結び付けていくかの可能性について考えます。 集合場所等 :道の駅、ローズマリー公園 丸山町内シェイクスピア・カントリーパーク 集合時間 9:00</p>	代表：横山 武 副代表：朝倉 常夫 記録：笹子 全浩 委員：遠藤 勇	横山武 電話 0470-46-3154		5/21の分科会をうけて、6月18日、19日に道の駅ローズマリー公園 丸山町内シェイクスピアカントリーパークで実施
11. 里山と水循環	健全な水循環～恵み豊かな水を子どもたちへ～	<p>生き物を支えている水が昔に比べると病気になるかけています。健全な水は、私たちが豊かにし、生き物すべてを元気にします。そこで、今回は特に地下水に目を向けながら、私たちの身の回りの水を元気にするにはどうすればよいか、恵み豊かな水を子どもたちに残すにはどうしたらよいか、話し合います。</p>	<p>シンポジウム： 講演 佐倉 保夫氏(千葉大学理学部地球科学科地球環境科学講座) 事例発表と意見交換 1)印旛沼のみためし 三品 圭史氏(千葉県県土整備部河川計画課) 2)手賀沼流域の事例 NPO 3)印旛沼流域の事例 NPO コーディネーター 瀧 和夫氏(千葉工業大学生命環境科学)</p>	野外体験 手賀沼と岡発戸の谷津田体験 6月12日(日) 手賀沼周辺	代表：荒尾 繁志 書記：桑波田 和子 実行委員：瀧 和夫、千葉 智雄、吉田 正彦			2 野外学習] <場所> 手賀沼および近郊 <日時> 6月(日時は未定) <備考> 他分科会との共催を予定している。
12. 里山と野生動物	里山の野生動物との共存を考える	<p>千葉県は、猪、狼、鹿などによる森林や農地の被害が多数報告され管理が問題になっています。中心になっている管理方法は駆除で、多くの動物が殺処分されますが、根本的な解決になっていません。最近ハクビシン、キョン、アライグマなどの移入動物の被害も報告され、むしろ問題はますます複雑になっています。この検討委員会はこうした問題の解決について話し合っているのですが、こうした野生動物による農林業被害は千葉県に限ったことではなく全国各地で見受けられますが、管理に成功している地域は、行政と猟友会のような組織だけで対応を検討するのではなく、地域の課題、まちづくりの課題として捉え、地元住民はもちろん、いろいろな専門家が協力して課題解決に取り組んでいます。そこで、検討委員会の外にこの問題を持ち出して、市民や他の専門家と意見交換がしたいというのが、今回の趣旨です。</p>	<p>シンポジウム： 日時 2005/5/21 場所 我孫子市中央学院大学 6号館の会場にて開催 プログラム：基調講演 羽山伸一(日本獣医畜産大学獣医学部助教授 野生動物学) 決定 落合啓二(千葉県立中央博物館研究員) 交渉中 パネルディスカッション 電気柵メーカーの研究員(清水亨)や行政(千葉県庁 市町村) 羽山伸一、栗原裕、被害を受けている農家にきていただく予定</p>		代表：中野 真樹子 副代表： 記録： 委員：			分科会責任者 中野真樹子(ひげとしゃぼ移動どうぶつ病院) 分科会実行委員及び記録係：
13. 里山と文化と伝統	遺跡からみた里山景観	<p>「さきさき追いかの山、小鮎釣りしかの川」のように、童謡でつたわられているような私達の暮らしがどこかで永続できる社会を考えると、食、農、環境と文化を考える視点が必要かと思ひます。今回は、「遺跡からみた里山景観」にスポットライトを当てます。縄文的なくらしから始めて、江戸、明治、そして現代までに変わってきたわたたくしたちの暮らしを振り返り、景観に配慮したこれからの里地里山の保存と創出を文化「伝統」と言う目線から考える良い機会でもあります。地域の文化資源や自然資源など、心が癒される空間をもっと知って、地域おこし等、広い視点からの新たな提案につながるような話し合いの場づくりから始めていきたいと思ひます。</p>	<p>シンポジウム： 日時 :5月21日(土) 午前10時～12時30分 場所 我孫子市中央学院大学 6号館 637教室) 10:00～ 趣旨説明 加藤賢三(分科会代表) 10:10 講演「遺跡からみた里山景観」 10:10～ 1.縄文時代 上守秀明 10:40 (財)千葉県文化センター 上席研究員) 10:40～ 2.弥生～中世 笹生 衛(千葉県教育庁教育振興部文化財課) 11:10 文化財保護室 主任文化財主事) 11:10～ 意見交換 コーディネーター 12:30 西野 元(国士館大学 文学部 非常勤講師)</p>	野外体験:(1) 場所 : 手賀沼および近郊 日時 : 6月12日(日) 午前10時～午後3時(雨天中止) 備考 : 他分科会との共催予定。 野外体験:(2) 場所 : 千葉県立房総のむら(親子体験) 日時 : 7月(日時は未定) 備考 : 上総の農家の一日体験など。	代表：加藤 賢三 副代表： 記録：田桐 義啓 委員：平山 喜人、西野 元、福原 経正、笹生 衛、佐久間 豊			
14. 里山と子どもの健康	化学物質から子どもを守る	<p>子どもに関わる里山に話し(1)市民レベルでのプレーパーク(2)行政レベルでの「プレーパーク」それらをパネルディスカッション</p>	<p>シンポジウム： 日時 2005/5/21 場所 我孫子市中央学院大学 6号館の会場にて開催</p>		代表：井村 弘子 副代表： 記録： 委員：			6月に「残土 産廃」に関わるシンポジウムを予定しています。